

# CDM/JI プロジェクトに関する総合コンサルティング事業をめざして

(株) 関西総合環境センター Fumio Takahashi  
企画総務部 企画チーム 高橋文雄

当社は、環境総合エンジニアリング会社として、CDM（クリーン開発メカニズム）およびJI（共同実施）プロジェクトに関する総合コンサルティング事業に取り組んでいる。

## 1. これまでの実績と現状

当社は平成11年以来、おもに東南アジア諸国（マレーシア、インドネシア、タイ、カンボジア、モーリシャス）を中心に、吸収源やバイオマス利用に関連するCDMプロジェクトの実現可能性調査を実施してきた。また、温室効果ガス排出量の検証・認証会社への出資、排出権取引仲介会社への出資、排出量取引シミュレーションへの参加、経済産業省によるクレジット取引・移転試行事業への参加など、京都メカニズムに関連する幅広い活動を行ってきた。これらの実績を踏まえ、平成16年4月、当社は社内横断的な組織として京都メカニズム事業グループを立ち上げた。これは、京都メカニズムに関する総合コンサルティング事業の推進、後述する「大阪CDMネットワーク」参加企業の取りまとめ会社としての対外的窓口、関連業務の効率的マネジメント等の観点から新たに設置したものである。

## 2. 大阪CDMネットワークへの参加（取りまとめ会社）

平成16年2月20日、(財)オイスカ関西総支部環境ISO部会、(財)大阪市都市型産業振興センター、(財)地球環境センターは、地球温暖化対策事業の一環として「大阪CDMネットワーク」を創設した。本ネットワークは、従来型産官学連携に加え、学識経験者、公益法人などによるアドバイザーボードを組み込むことによって、より効率的・効果的にネットワーク参加者の課題解決を図るために設立されたプラットフォームである。当社は参加企業の取りまとめ会社としてこれに参加している。今後、参加企業の活動の場となるCDM事業化研究会（省エネ・新エネ、廃棄物、バイオマス、吸収源などの分野）において、具体的なCDMプ

ロジェクト候補案件ごとに参加を希望する会社が共同して実現可能性調査を進めてゆく予定である。

## 3. 今後の戦略的展開

京都メカニズムに関する総合コンサルティング事業を戦略的に展開するため、プロジェクト設計書の作成、関係国からの承認申請手続、モニタリング調査、モニタリング報告書の作成、有効化審査や検証・認証のためのDOE（指定運営機関）との契約、クレジット取引仲介会社との契約など、案件発掘調査だけにとどまらず、実際のCDM/JIプロジェクトに関わる総合コンサルティングを一括して請け負うビジネスモデルの実現をめざしたい。

参考までに、当社の得意な分野としては吸収源（植林）やバイオマスなどのスコープが挙げられる。特に、植林事業による炭素隔離量のモニタリング調査については、リモートセンシング（高解像度空撮画像の解析による）を活用した植林地地上部バイオマス量のモニタリング手法を開発中である。また、当社がCFCと名付けた「炭化を組み入れた持続可能なCO<sub>2</sub>固定植林事業モデル構想」について、木炭を土壌中に貯留することによる炭素隔離活動が第2約束期間以降にCDMプロジェクトとして承認されるよう、必要なデータを得るための調査研究および論文発表を進めている。

今後、総合コンサルティング事業を展開するに当たっては、その総合力をさらに強化するために必要な他社との業務提携を進め、クライアントに高品質のサービスを提供できるよう、全社を挙げてこの新規事業に取り組んでいきたい。企業による地球温暖化防止への自主的取り組みは、近年、わが国でも注目されてきたCSR（企業の社会的責任）やSRI（社会的責任投資）の考え方にも通じる活動である。このような企業活動は、CDMのホスト国（開発途上国）における持続可能な発展に貢献するばかりでなく、投資国（先進国）自身における環境ビジネス（コンサル業等）の拡大を促すものと期待される。